

# 社会資本総合整備計画

## 鵜沼駅東部地区都市再生整備計画

平成 22 年 11 月 18 日

岐阜県各務原市

## 都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	岐阜県	市町村名	各務原市	地区名	鵜沼駅東部地区	面積	6.5 ha
計画期間	平成 20 年度 ~ 平成 24 年度	交付期間	平成 20 年度 ~ 平成 24 年度				

<b>目標</b>
<p>既存の地域コミュニティと景観を維持した、安全で安心なまちづくり</p> <p>目標1: コミュニティー道路を整備し、災害などの緊急時にも安心な環境をつくる。</p> <p>目標2: 国道21号線と県道春日井各務原線へのアクセス道路を整備するとともに、土地区画整理により良好な宅地化を行い、地域の活性化を図る。</p> <p>目標3: 木曾川沿岸の景観と調和及び、住環境に配慮したまちづくりを行う。</p>

<b>目標設定の根拠</b>
<p>まちづくりの経緯及び現況</p> <p>当地区は、木曾川を南に望む景観的にも優れた閑静な地区である。また、JR鵜沼駅・名鉄新鵜沼駅が隣接し、主要幹線道路として国道21号線及び主要地方道春日井各務原線が通る交通の要衝であり、市街地としての高い可能性を有する地区である。しかし、軌道や地形等により主要幹線道路へ接続する道路が少ないこと、また、地区内での道路網が構成されていないことから、現在有効市街地としての土地利用が進んでいない状況である。そうしたことから、主に低層の住宅系土地利用を想定した都市基盤整備を行い、当地区の利便性を活かしたまちづくりを行い、活性化を図る必要がある。</p> <p>・平成13年より、鵜沼南町地区まちづくり基本構想策定委員会及び基本計画策定委員会を発足させ、ワークショップを十数回にわたり開催。この他に地元住民を対象に数回開催し、地区の問題点や要望について検討を重ねた。</p> <p>・各務原市新総合計画では、東部拠点の整備として、鵜沼駅周辺市街地の整備、土地区画整理事業の推進をしている。</p> <p>・各務原市都市計画マスタープランでは、鵜沼駅周辺地区として、各務原市の東部拠点としての市街地形成を図ることとしている。</p> <p>・住民参加によるまちづくり推進地区、交通バリアフリー推進地区である。</p>
<b>課題</b>
<p>・地区内の生活道路が狭隘で、小型車両の進入ですら困難な箇所もある。災害時等の緊急車両の進入を容易にし、生活の安全を確保することが望まれている。</p> <p>・各務原市の東の拠点として、南は名古屋方面、北は国道21号線に接し高山方面へと、交通の利便性を活かすために、主要幹線道路へのアクセス道路の整備を行う必要がある。</p> <p>・約2.0ha未利用地があるため、土地区画整理による基盤整備を行い土地利用の増進を図る。</p> <p>・木曾川、犬山城を望むことのできる、閑静で景観に優れた地区であるため、景観と調和したまちづくりを行う必要がある。</p>
<b>将来ビジョン(中長期)</b>
<p>各務原市新総合計画では、市民の生活利便性を向上させ快適な都市環境を創出するためには、一つの都市核ではなく複数の都市拠点の整備が求められ、積極的な形成を図っていく必要があるとしている。また、各務原市マスタープランでは、都市幹線道路及び生活道路・公園・排水等住居環境の向上に資する都市基盤施設整備を促進するとともに、木曾川の自然環境を活用したまちづくりを行うこととしている。</p>

<b>目標を定量化する指標</b>								
指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度	
1. 消防活動困難地区面積率	%	地区の総面積に対する、消防活動が困難とされる面積	地区内の消防困難区域を縮小する	52.0%	平成19年度	3.0%	平成24年度	
2. 宅地整備率	%	地区の総面積に対する、幅員4.0m以上の道路に接する宅地面積	十分な幅員(4.0m以上)を有する道路に接した良好な宅地整備を行う	35.0%	平成19年度	75.0%	平成24年度	
3. 定住人口	人	地区内(南町7丁目、山崎9丁目)の人口	良好な宅地化により、定住人口の増加を目指す	260人	平成19年度	315人	平成24年度	

## 都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>・災害時等に緊急車両の進入を容易にするための道路整備を行う                      地域住民が安心して暮らせる環境を創出するため、コミュニティー道路の拡幅と、土地区画整理事業による基盤整備により、消防車等も容易に進入できる道路整備を行う。</p>	<p>■基幹事業 市道鶉327号線整備(道路)                      ■基幹事業 (仮)鶉沼駅東部地区土地区画整理事業(土地区画整理事業)                      ■基幹事業 (仮)市道鶉325号線整備(道路)</p>
<p>・国道21号線と県道春日井各務原線への道路を整備する                      名古屋、高山方面へ通じる主要幹線道路へのアクセス道路を整備し、地区内の交通利便性を高める。</p>	<p>■基幹事業 市道鶉327号線整備(道路)                      ■基幹事業 (仮)鶉沼駅東部地区土地区画整理事業(土地区画整理事業)</p>
<p>・良好な宅地化と、安全で住環境に配慮したまちづくりを行う                      約2.3haの未利用地の土地区画整理事業と、公共下水道整備による基盤整備を行い、良好な宅地化をするとともに、歩道を設置した道路整備、災害時における避難地の確保を図るための公園整備を行い、安全で、これまでの住環境に配慮したまちづくりを行う。</p>	<p>■基幹事業 市道鶉327号線整備(道路)                      ■基幹事業 山崎南公園(公園)                      ■基幹事業 (仮)鶉沼駅東部地区土地区画整理事業(土地区画整理事業)                      ■基幹事業 街路灯設置(高質空間形成施設)                      □提案事業 公共下水道整備(地域創造支援事業)                      ○関連事業 公共下水道事業</p>
<p>その他</p> <p>・今後、各務原市景観計画による重点風景地区に指定し、この地区に多くある歴史的及び自然的ランドマークへの眺望景観の保全を図るため、建築物等を建築する際のルール(風景形成基準)を定める必要がある。</p>	



都市再生整備計画の区域

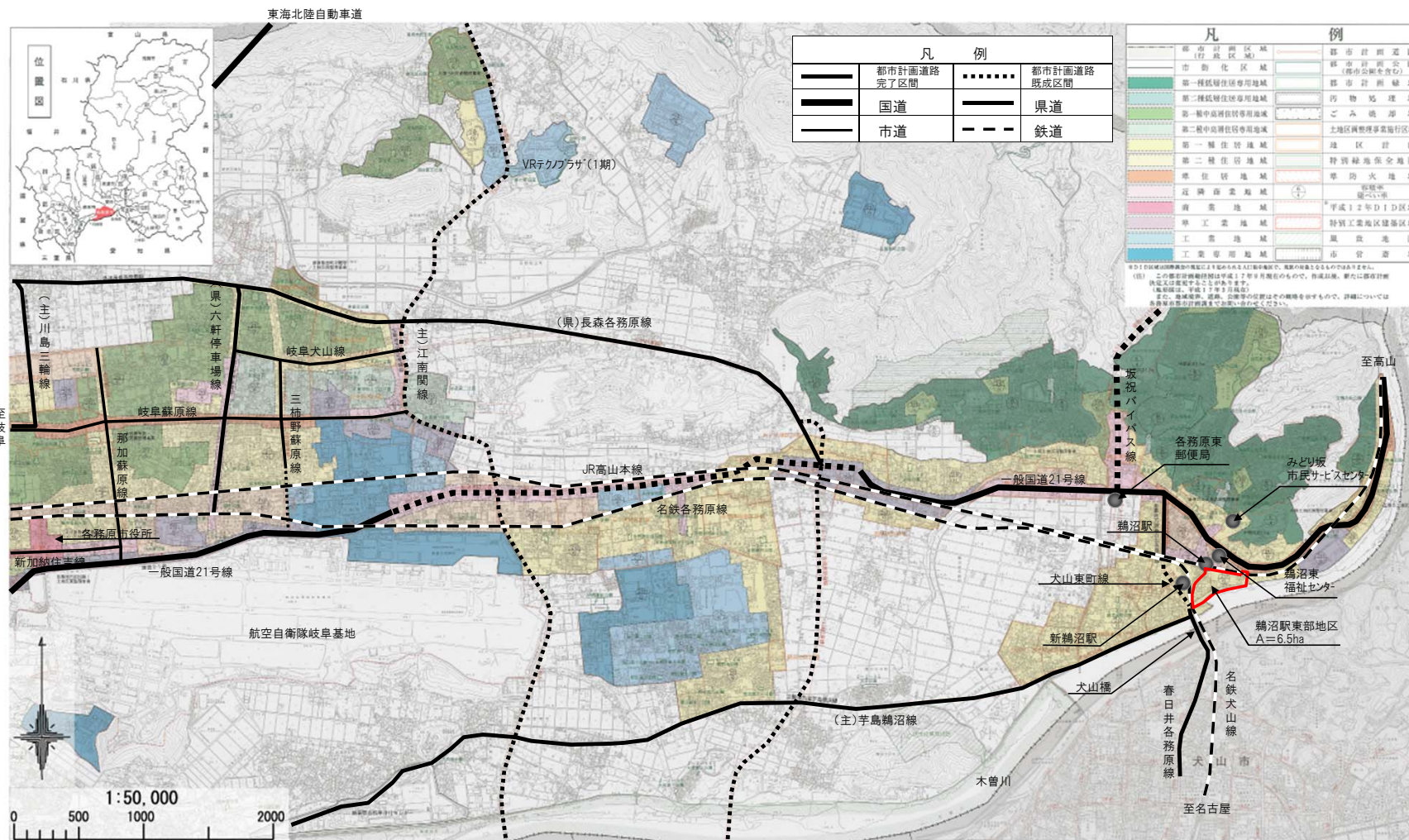
鵜沼駅東部地区(岐阜県各務原市)

面積

6.5 ha

区域

鵜沼南町7丁目、鵜沼山崎町9丁目





# 鵜沼駅東部地区(岐阜県各務原市) 整備方針概要図

目標	既存の地域コミュニティと景観を維持した、安全で安心なまちづくり	代表的な指標	消防活動困難地区面積率 ( % )	52.0(%) (平成19年度) →	3.0(%) (平成24年度)
			宅地整備率 ( % )	35.0(%) (平成19年度) →	75.0(%) (平成24年度)
			定住人口 ( 人 )	260(人) (平成19年度) →	315(人) (平成24年度)

